

公益社団法人
東大和市 シルバー人材センター広報誌

け や き

〒 207-0015 東大和市中央3-912-3

電話 042-565-0531 FAX 042-566-2308 <https://www.silver-center.org/>

謹賀新年

令和三年 元旦



多摩湖から富士山を望む

清水B班 今敷一平会員撮影

◆ 編集後記	◆ 委員報告	◆ 総務委員会	◆ 事業委員会	◆ 広報委員会	◆ 安全管理委員会	◆ 職場訪問	◆ 同好会のご案内	◆ 会員寄稿	◆ 会員の作品紹介	◆ 私のふるさと①	◆ 市内のモニユメント訪問①	◆ 私のふるさと②	◆ 市内のモニユメント訪問②	◆ センターの今後の予定	◆ 就業相談日日程表	◆ 会員の作品投稿募集	◆ 編集後記
8	3	3	3	3	3	4	4	5	5	6	6	7	7	8	8	8	8

目次

◆ 新年を迎えて

正会員数
(12月1日現在)

男性 471名
女性 180名
合計 651名

新年を迎えて

公益社団法人
東大和市シルバー人材センター
名誉会長

東大和市長 尾崎 保夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東大和市シルバー人材センターの役員並びに会員の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えたいこととお慶び申し上げます。

また、日頃より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、公共施設が休館を余儀なくされるなど、会員の皆様の就業等においても大きな影響があったかと存じます。そのような状況下にあっても、会員の皆様が、就業あるいはボランティア活動などを精力的に

実践され、地域において活躍いただいていることは、当市における健康寿命の延伸や、介護予防の観点からも大変意義深いことであると認識しております。

また、関係者の皆様のご尽力により、会員の皆様の就業機会が広がり、長年にわたり培ってこられた知識・経験・技能を発揮する場が増えることは、大変喜ばしいこととあります。

人生100年といわれる近年において、これからも、会員の皆様をはじめとしたシルバー世代の皆様が、生き生きと地域の中で活躍いただくための施策を推進してまいりますので、引き続きのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東大和市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人

東大和市シルバー人材センター

会長 立石 孝義



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと思っております。

昨年中は、当センターの事業計画推進にあたりまして、ご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、世界はもとより、日本各地では新型コロナウイルスにより、多数の感染者が報告されており、会員の皆様におかれましては日々の健康管理に加え、マスクの着用・手洗い・ウガイなど励行され感染しないよう十分に注意をされていることと思っております。

当センターといたしましては、令和2年度の事業計画では感染防止対策、特に3密などには重点を

置きながら、安全就業、適正就業、シルバー派遣事業、日常生活支援総合事業など実施してまいりました。

今後、新型コロナウイルスの終息が見込めるかどうかは分かりませんが、本年は丑年です。丑年は「我慢（耐える）」また、「これから発展する前触れ（芽が出る）」といわれており、新型コロナウイルスが終息し、シルバー人材センターのさらなる向上につながるよう期待しながら、事業計画を的確に実施してまいりますので、会員の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご発展とご家族のご健康を祈念しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



総務委員会

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は2月よりコロナウイルス感染拡大の為に、誠に残念ながら各行事の中止を決定いたしました。

【中止となった年間事業】

- ・健康増進事業・ウォーキング、健康の集い
- ・会員交流会
- ・地域班長会議
- ・会員作品展

本年は安全と健康、特に「三密」と手洗い、うがい、検温等にまだしばらくは注意を要すると思います。

来年度の活動につきましては、コロナウイルスの感染終息後に、令和3年度事業計画に従い再開したいと思えます。

その節には、会員の皆様のご協力とご参加をよろしくお願いいたします。



事業委員会

新春のお慶びを申し上げます。さて、新型コロナウイルス禍

での事業委員会活動の現状は、令和2年7月13日(月)に本年度第1回の委員会を開催、事業計画の見直しを行い、実施する事業・中止する事業を決定いたしました。

- その決定に従い、現在、実施している事業は、
- ・新入会員研修会
- ・就業相談

の2事業のみとなっております。今年度は、この2事業について、感染対策をしっかりと講じつつ実施してまいります。

来期の令和3年度事業計画案については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、事業委員会で検討し決定してまいります。

なお、今年度と同様に感染状況を考慮しての実施となりますのでご了承ください。

今年も、会員の皆様方のご理解とご協力をいただきたく、お願い致します。

広報委員会

新年あけましておめでとうございませう。

昨年はコロナ感染症対策のため、各委員会とも活動を中止せざるをえなくなりました。広報委員会としても例年行ってきた10月の道路美化清掃ボランティア活動及び11月の福祉祭の参加が取りやめになりました。また7月発行予定の「けやき134号」も広報委員の取材活動ができず、10月発行に延期することになりました。

「けやき135号」に続き、今月からは「けやき136号」の4月発行に向けて広報委員一同取材活動に努めてまいりますので、会員の皆様からの記事の投稿をお待ちいたしております。ご協力を心よりお待ちしております。

今年度は、コロナの終息を期待して各行事ができることを念頭に、委員一同頑張っていくたいと思っております。宜しくお願ひ致します。



安全管理委員会

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

今年度は以下の活動をしました。

- ・安全就業パトロールの実施
- 10月28日(火) 植木班Dグループが実施する総合福祉センター「はーとふる」の植木剪定作業の巡回をおこないました。
- ・第4回の安全管理委員会を11月17日に開催しました。
- ・令和2年度健康検診受診調査を行い、提出率61%、提出者の受診率92%でした。
- ・令和3年度「安全就業標語」の募集を行っております。
- ・テーマ1「危険予知」
- ・テーマ2「自転車の安全利用について」

〆切り・2月10日(水)センター事務局へ持参、郵送またはFAXでお願いいたします。



職場訪問

学校給食センター清掃班

今回は、市立小中学校15校の給食を作っている学校給食センターの、一般者・見学者使用エリア（1〜2階）の清掃請負を担当している4名の皆さんにお話を伺いました。

学校給食センターは2箇所に分散されていた施設を統合して新たに建設され、平成29年4月から運用しているまだ新しい施設で、1日約7000食を供給しています。

シルバーでは、運用当初から請負業務を行っており、仕事の内容は、受持ちエリア内（玄関周り、ロビー、トイレ、階段、会議室）の清掃です。就業時間は、年末年始の休みを除く、火曜と金曜の午前9時〜12時30分を2名で、12時30分〜16時までを2名のグループ制で実施します。

また、敷地内や周りの歩道の草取りや、落葉清掃も行われていて、大変に綺麗に



学校給食センター



清掃班の4人の会員



ロビー清掃



トイレ清掃



会議室清掃



スロープ清掃

なっています。さらに、見学用のガラス窓は、いつも透明を保つよう特に気を使って清掃を行っています。

この仕事をやっていて良かったことは、4名で仲良く協力し合っ

て作業ができる事で、ノウハウを共有し、効率よく進められることや、プライベートも含めた相談事も気さくに出来る雰囲気があり、普段の生活面でも役立つという事でした。

大変なことは、外周り清掃は雨風の時は辛いそうです。また、見学者が来た時はガラスやトイレの清掃には特に気を使います。給食センター職員とのコミュニケーションにも気を付けています。全員での交流は特に行っていませんが、グループでのお茶飲み等は定期的に行われており、仲の良さが感じられました。

今後の抱負として、皆さんが『新しい綺麗な施設なので、私たちが長く維持していきたい』と言わ

同好会のご案内

東大和市シルバー人材センター「健康体操同好会」のご案内

会員の皆様へ

「健康体操同好会」（自彊術・指圧・マッサージ等）を通し、高齢者の私たちの健康増進、自分自身で行う身体のケアの方法、免疫力アップが期待できる体操と一緒にしませんか！

- ・実施日 毎週日曜日の午前中
- ・場所 清水集会所集会室
- ・講師 石田 浩 先生
- （公社）自彊術普及会正会員
- 中伝・あんま・指圧・マッサージ師
- ・会費 無料

興味のある会員の方はご一報ください。見学・体験も可能です。
・世話人連絡先
小林090-0984813785
増田090-0997515080



会員寄稿

散弾銃に魅せられて

芋窪A班 三田 達巳

散弾銃を持ちたいとの思いは子供の頃からの夢であった。きっかけは、散弾銃で鳩が撃ち落とされるのを見て凄く思ったことや、西部劇で散弾銃での撃ち合いを見るのが何よりも楽しかったことである。

狩猟は、猟犬とのチームワークによるものであるが、鳥臭を嗅ぎつけた犬の鼻先に銃を構え、犬に「よし」の声を掛ける時の興奮は忘れられない。

クレー射撃では、撃ち当たった皿が粉々に砕けた時の気分は爽快で、悩み事などがあっても吹き飛んでしまう。

また、狩猟とは違って一日に数百発もの弾を撃つこともあり、引き金を引くときに「頬付・肩付」をしつかりしていないと銃の反動で顎（アゴ）が腫れたり、肩を痛めたりする。

このように、散弾銃は扱いを誤ると自ら怪我をするだけでなく、人を殺めかねない危険なものであることを常に意識していなければ

ならない。

尚、運転免許の高齢者講習で、視野が180度以上も有るとのことと褒められた。（真正面を見つめた状態で、左右180度の範囲の光景が目映るということである）

要因は、スキート射撃（左右にある放出機から同時に飛び出す二枚の皿を撃ち落とす競技）で培ったことによるものと思われるが、高齢者にとつて、視野が広いことは安全運転に欠かせないことである。

「五十数年に亙り散弾銃を所持し、事故や怪我も無く、狩猟やクレー射撃の醍醐味を満喫できたことは最高の幸せであった。」

また、カモやキジ・ヤマドリ等の剥製を眺め、捕獲した時のことを思い浮かべるのも楽しいひと時である。



ヤマドリの剥製

会員の作品紹介

福田一彦会員の風景水彩画の作品

昭和の思い出 新堀A班 福田 一彦

2015～2016年（平成27年頃）に描いた風景水彩画です。都会じゃないけど、田舎じゃない雰囲気です。



今はなきリサイクルセンター

環境はあまりよくないですが、皆さん楽しそうに働いていました。



ガスミュージアム

外灯はガスです。黄色い光が心なごみますね。



光商店街

現在、八百屋さんは店を閉めました。人気の中華の長崎ちゃんぽん「ばってん亭」は健在です。奥にある「神明湯」は心から温まる人気スポットで、近所の会合場所です。

私のふるさと(愛知県)

桜が丘C班 綿貫 一成

私のふるさととは愛知県豊橋市です。市制115年、人口約38万人。東は湖西連峰を境に静岡県に隣接し、南は太平洋、西は三河湾に面して豊かな自然と温暖な気候に恵まれた土地です。私が通った中学校は吉田城址の一角にあり、戦前は歩兵18連隊がありました。校庭を囲み木造の隊舎が残っています。映画二等兵物語では伴淳やアチャコが撮影に来ていました。この城は姫路城を造った池田輝政が小田原征伐の後、秀吉から三河4郡を与えられた時、30万石の縄張りで見ぬまま姫路に転封となつてしまったのは残念でした。

釣りや魚捕り、また泳いだりしました。近年、シラスウナギが不漁といわれますが、子供の頃、豊川には沢山いました。針メスと呼んでいましたが捕ることはなかったです。また東京では鳴くミンミン蝉は殆んどおらず、中学時代一度城跡で鳴き声を聞いただけです。ここの蝉はクマ蝉でミンミン蝉より一回り大きくうるさい鳴き声からシャーシャーと呼んでいます。豊橋はまた農業が盛んで、市町村の農業産出額は昭和42年〜平成16年まで全国1位、今でもトップクラスの産地です。三河港は自動車輸入で全国1位、輸出でも2位の実績があります。出身の有名人として浮かぶのは松平健・喜多郎・大津美子等です。喜多郎は学校の後輩です。それから朝ドラ「エール」で主人公のモデル古閑裕而氏の妻、金子さんの故郷は豊橋です。私はこの放送で初めて知りました。ドラマで聞く、三河弁を嬉しく感じます。豊橋には路面電車が正14年から走っており、秘境駅観光でも人気です。JR飯田線の始発駅でもあります。名物は色々ありますが、ヤマサの焼きちくわは日本一美味しいと思っています。私は仕事や



東海道53次 三州吉田



吉田大橋から(吉田城址)の眺め

観光で世界の多くの町や風景を見ましたが、故郷豊橋は世界的にも素晴らしい土地だと思っています。勿論、皆さまも故郷を想う気持ちと同じだと思います。

市内のコミュニケーション訪問

俵かつぎ

・場所…上中原公園
・設置日…平成3年3月15日
麦まきも終わり、畑仕事も一段落した「えびす講」の日(十一月二十日)には、村の青年団の運動会が行われていました。

大正八年、高木村外五か村組合が合併して大和村となったので、それまで各村々でやっていた運動会が合同で行われることになりました。どの競技も観衆をわかせました。中でも花形は六十キロの土俵をかついで百メートルを走る俵かつぎ競争でした。

村一番の力持ちを決めるこの競争には、一段と応援の熱が入りました。

(東大和よもやまばなしより)



俵かつぎ

私のふるさと(群馬県)

南街E班 小林 巳喜雄

私のふるさととは群馬県多野郡入野村、現在の高崎市吉井町に生まれました。

故郷から見える浅間山はいつも煙が出ていました。畑のまわりには火山灰が山に積んであり、名物の空っ風が吹いて前が見えない状態で通学していました。

近くに牛伏山があり、標高は490mとかなり低い山です。今では頂上まで自動車で行けます。山頂付近に「琴平神社」と「洞窟観音」があり、牛伏山展望台(お城風)があり、全体で牛伏山自然公園と呼ばれています。春には「千本桜」が咲くことで有名で、開花時期の夜にはライトアップも行われます。6月中旬〜7月中旬に「約400株のアジサイ」を見ることができます。

「多胡碑」は日本三古碑の一つとして位置付け、以外に同じ高崎市にある「山上碑」、「金井沢碑」の碑と合わせて「上野三碑」と呼ばれて世界記憶遺産の国内候補に決定しています。

高崎市のシンボルとして昭和11年に建立された白衣大観音胎内に

20体の仏様や高僧の像があり146段の階段を登っていただく観音様の肩の高さまで(9階)昇ることが出来ます。各階の窓からは高崎市街や上毛三山や関東平野なども望めます。

高崎市にあるのが少林山達磨寺です。この寺は福だるま発祥の地として知られており、さらに毎年のように高崎のだるま市が開催されています。少林山達磨寺は何と言っても縁起だるまの存在そのもののパワーを受けることが出来る場所で、実際にこの寺を訪れると誰もが達磨堂に寄贈された多種多様な達磨に圧倒されるのだそうです。それだけ達磨のパワーは大きいと言えるでしょうが、他にも精神的に穏やかな気持ちにしてくれるという効果があるようです。今の世の中で商売しているような人でなければ達磨さんを飾っている家庭は少ないかもしれませんが、ここは達磨さんが持つパワーを改めて見直す機会を与えてくれる場所かもしれませ



市内のモニュメント訪問

あぼへぼ

場所・水道緑地
設置日・平成7年3月
昔は、穀物の豊作を願って小正月にあぼへぼの行事をしました。鉦(なた)や鎌(かま)を使って、背丈くらいの青竹の先を九本に割り、よくしなうようにするため火であぶります。その先に二十センチ位に切った、にわとこ、かつんぼう、(かつの木)、松などの木で穂や花を作り、さします。のうてん(頂点)には、葉のついた小竹をさし、にわとこの木で作った花を三本さし、一年分計十二本飾りつけます。きれいに飾った竹を、庭先の堆肥(たいひ)の山にさし、水とお米をお供え(おそなえ)して、一年間の豊作をお願いしました。(東大和よもやまばなしより)



あぼへぼ

赤っ風

場所・玉川上水駅前広場
設置日・平成5年3月25日
「赤っ風になつちやうかな」春先強い季節風が吹いてくると、村の人は気がかりでした。

大正の頃、桑畑や、茶畑が続いていた東大和市では、春先の強い季節風が吹いてくると土ぼこりで空が真っ赤になり、あたりはなにもみえなくなるほどでした。

この強い風が吹いてくると農家の家の中は土が一寸(三センチメートル)も積もるほど、土ぼこりのひどい所でした。この風を「赤っ風」といいました。

ところが、この赤っ風を心待ちにしている人たちがいました。待望の赤っ風が吹いてくると、畳二畳分の大風を原に運び、大人が三人がかりで上げたそうです。

(東大和よもやまばなしより)



赤っ風

センターの今後の予定				※今後、新型コロナウイルス感染症の影響により予定を変更する場合があります。
月	日	曜日	時間	内容
1	13	水	9:00	入会説明会
	18	月		配分金振込
	19	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	20	水	9:00	入会申込日
	28	木	9:00	定例理事会
	29	金	9:00	新入会員研修会
2	10	水	9:00	入会説明会
	16	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	17	水		配分金振込
	17	水	9:00	入会申込日
	25	木	9:00	定例理事会
	26	金	9:00	新入会員研修会
3	10	水	9:00	入会説明会
	16	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	17	水	9:00	入会申込日
	17	水		配分金振込
	25	木	9:00	定例理事会
	26	金	9:00	新入会員研修会

入会説明会に参加を希望される方は、前日までにシルバー人材センターまでご連絡ください。電話042-565-0531



けやき136号（4月号）の表紙の写真を募集します。題材は、風景・動物・書道絵画の作品等、ジャンルは問いません。皆様の投稿をお待ちしております。

けやき表紙写真募集

就業相談日	相談時間帯
2021年1月19日(火)	①14:00
2月16日(火)	②14:30
3月16日(火)	③15:00
-	④15:30
-	⑤16:00
-	各時間1名

●申し込み
電話またはセンター窓口で、事前予約をしてください。

**就業相談を
実施しています。**

申し込み期限は、各月第2火曜日までです。電話042-565-0531

新型コロナウイルスの感染防止のため、昨年はセンターの各種行事・会議が中止になりました。広報委員会もコロナ禍の制約で取材活動が十分に出来ませんでした。今年は、「私のふるさと」や「会員投稿」を中心に、皆様に楽しんで読んでいただけますので、皆様の投稿をお待ちしております。

編集後記

会員の皆様の作品・投稿を募集しております。
写真・絵画・紀行文・川柳・私のふるさとの投稿等、何でも結構です。
作品は400字×2枚以内（写真1〜2枚）で、郵送、持参、またはホームページに掲載の書式で電子データでの投稿をお願いします。
掲載させていただきます。投稿作品には、謝礼を差し上げます。皆様の投稿をお待ちしております。

会員の作品・投稿募集